



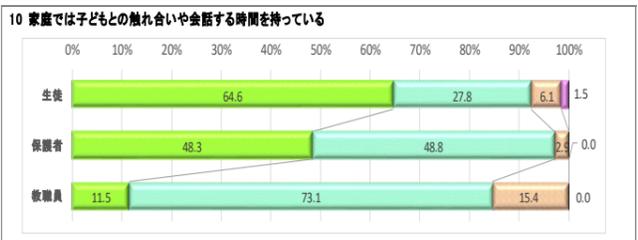
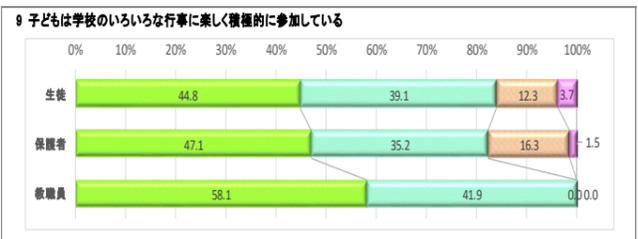
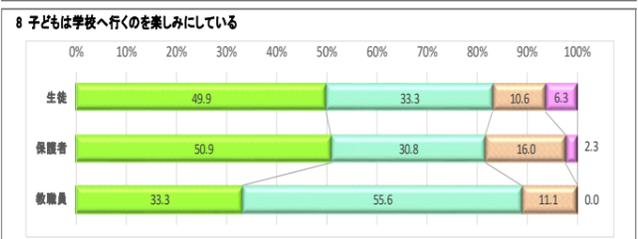
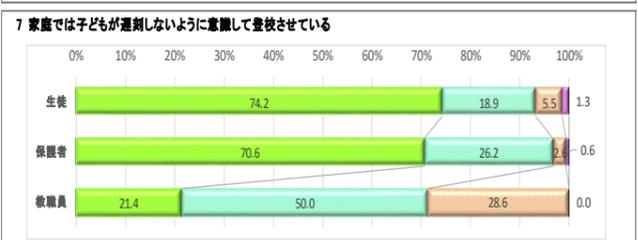
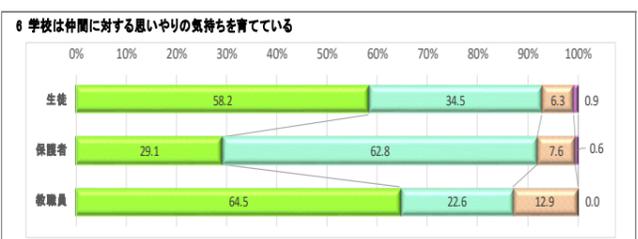
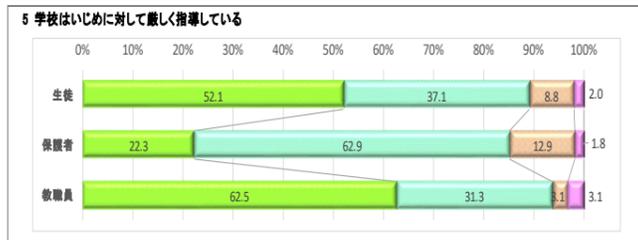
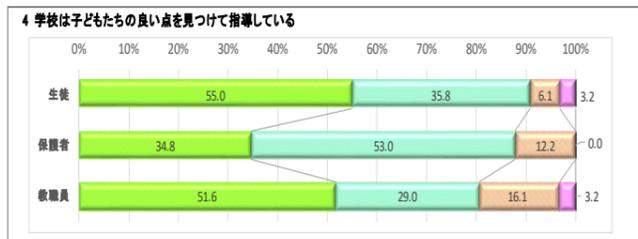
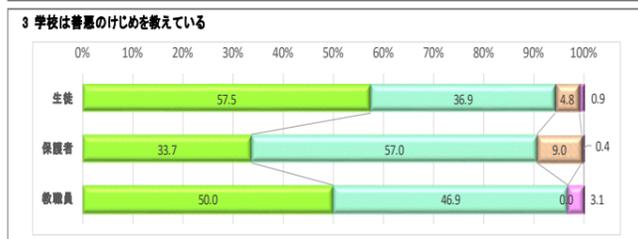
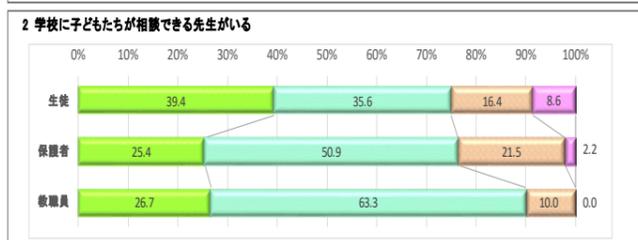
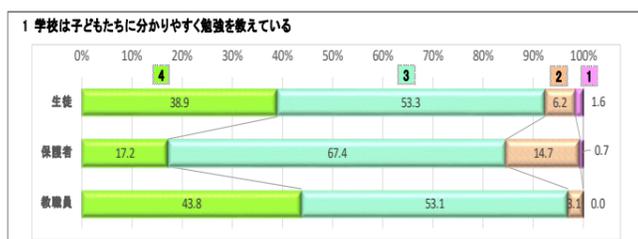
# 山中だより

令和3年2月24日 18号  
芦屋市立山手中学校  
校長 大石 健二

生徒（上段）・保護者（中段）・教職員（下段）の三者が同じ項目についてのアンケートを取った結果です。『よく当てはまる』『やや当てはまる』を肯定的な意見、『あまり当てはまらない』『全く当てはまらない』を否定的な意見としています。グラフでは左から順にその%を示しています。

4 よく当てはめる。 3 やや当てはまる。 2 あまり当てはまらない。 1 全く当てはまらない。

\*三者とも、どの項目でも肯定的な意見が多く見られる状況になっていますが、項目によっては三者の受け止め方に相違がみられました。学校として謙虚に受け止め対応を考えていきます。ご協力ありがとうございました。



令和2年度 学校評議員の〈学校評価について〉

1 教育目標「豊かな心を育て たしかな学力 たくましい体力を身につける」について学校は努力していると思われませんか？

・今年度はコロナの影響で色々な制限があることを重々理解した上で、3つ目の「たくましい体力を身につける」に関して、過去2年間もあわせてあまりイメージがありません。部活動の運動部が少ない、合唱や吹奏楽が素晴らしいすぎて「文化的」イメージの方が強いせいかもしれません。

・とても積極的に柔軟に対応されていると感じています。

・送っていただく紙面からしかわかりませんが、たいへん努力されていると思います。

・豊かな心：学校生活全体を通して、よくご指導いただき、ありがとうございます。生徒会・委員会活動では、学年・クラスでの役割を果たし、お互い協力することで、責任感や協調性が育まれていると思います。部活動では、先輩後輩との関わりや、目標に向けて切磋琢磨すること、困難を乗り越える力、達成感など挙げきれないほどの経験をさせていただきました。

たしかな学力：3年生の学習会（放課後の自主学習）をしてくださって良かったです。部活を引退して早く帰宅するものの、自宅ではなかなかすぐに勉強に取りかかれないということも多いと思うので…。学習会に参加しなかったとしても、周りが取り組む様子に刺激を受けて良い影響があるだろうと思いました。

たくましい体力：日々の登下校だけでも自然と体力づくりになっているようです。また、栄養バランスのとれた、あたたかい給食を毎日いただけることは、何より成長期の身体づくりになっています。いつもありがとうございます。

・努力していると思います。2学期に入って数名腕を三角巾でつっている生徒を見つけました。運動不足でバランスを崩したのでしょうか。自然の多い学校で体力UP頑張ってください。

・今年は学校内の子ども達を見る機会はありませんが下校時、地域の方に元気に挨拶し、楽しそうな笑顔を見ると充実した学校生活を送っている事が伺えます。そして、その笑顔こそが豊かな心を育てられた現れだと思います。

・コロナ禍で色々制約がある中、豊かな心、たしかな学力、たくましい体力を身につけるために努力されていると思います。

2 学校行事についてご意見があればお書き下さい。

・これまたコロナで仕方ありませんが、全クラスの合唱がみられなくて残念です。保護者としても残念ですが、新1年生が上級生の取り組む姿が見られないのは残念です。本番だけでなく、休憩時間に円陣を組んで最後の音合わせをする姿は熱いものを感じます。3年生になったら「あんな感じで大地讃頌を歌いたい」と想像をふくらませたものです。

・予定されていたものについては、充実した内容だと思います。代替された行事も、生徒の学びを最優先に考慮されていてよかったと思います。

・コロナ感染の不安も消えない中、教職員の皆様は生徒さん達のことを考え、できる限りの行事を工夫して行われています。素晴らしいと思います。

・難しい状況の中、体育大会・文化発表会が実施できて本当に良かったです。

学校行事では、積極的な生徒だけでなく、いろいろな生徒に役割や活躍の機会があるといいなと思います。引っ込み思案な子も、先生のお声かけでやる気や勇気が出ることもあると思うので、様子を見て背中を押していただけたらありがたいです。

・今年はコロナ禍のために多くの行事が中止、変更されましたが、「トライやる・ウィーク」の代替の職業体験は、とてもよい体験になったようですね。毎年人気の保育所・幼稚園には行くことができませんでしたが、今後中3になった時にでも、コロナが落ちついていけば小さい子とのふれあい体験はさせてあげたらよいと思います。日頃から西山幼稚園と連携しているのはとてもよいことだと思っています。

・多くの行事が中止となり、残念な思いをしている子ども達がたくさんいるはずですが、その中でも体育大会など工夫され形を変えてでも、できるだけ心に残る中学校生活を送れるように尽力されていることがわかります。

・制限のある中、できるだけのことをされていると思います。

3 本校生徒の良い点、直していくべき点があればお書き下さい。

- ・あいさつをきちんとする学年、しない学年があるように感じます。中学生になっていい意味での先輩・後輩の上下関係を部活動や委員会を通じて学んでほしいです。
- ・良い点…明るい。真面目。自由。マイペース。直していくべき点…思いつきません。
- ・素直で、勉強にも行事・部活にも一生懸命に取り組む生徒が多いところがとても良い点だと感じます。学校全体の雰囲気として、一生懸命になることを良いことととらえていて好ましいです。生徒同士の仲も良さそうで、優しい子が多いなと思います。

学校内でも通学路でも、気持ちの良いあいさつをしてくれる生徒が大半ですが、朝のあいさつ当番で通学路に立っていてもあいさつを返してくれない（照れているとかではなく、当番のあいさつを意識していない）生徒が、以前より少し気になることがあります。

- ・朝、近所の生徒たちに挨拶の声かけをしています。今年度に入って新しく転居してきた生徒が、2学期に入ってから挨拶をしてくれるようになり、うれしく思っています。それまではうつむいて歩いていました。今もうつむいていますが、声に出して挨拶してくれるようになったので、来年は顔をあげてくれるかなとちょっと期待しています。恥ずかしがりですが、素直な生徒さんが多いように感じています。

- ・急な長い坂を毎日黙々と登ってくる忍耐強さ
- ・明るく元気な点

・初めの頃は、マスクをしていることもあり挨拶をしても返ってこないことがありましたが、最近はきちんと返してくれます。表情も明るく元気になったなと感じます。

4 教職員に対して思われることがあればお書き下さい。

- ・校長先生、教頭先生がフットワーク軽く生徒に熱くよりそって下さってるのがありがたいです。
- ・明るく、行動力を感じます。

・生徒たちのためにいつもご尽力くださり、ありがとうございます。中学生には、学習面でのつまずきが学校生活全体に影響を及ぼすと思います。先生方は授業で様々な工夫をされていると思いますが、しっかりと理解が定着するような指導をしていただければと思います。先生に対する信頼や憧れが、生徒にとっては大きな動機づけになると思うので、生徒との信頼関係をより深めるように心がけていただければありがたいです。

・直接お話す機会がないので、特にありません。

・例年以上にご苦労や戸惑われる事が多く、大変だと思います。地域も何かしらの協力できる事があればと思いながら先生方には感謝しております。

- ・いつも丁寧に対応してくださり、ありがとうございます。

5 さらに地域に根ざした学校にするにはどのような方策がありますか。

・私は、おたよりやホームページで学校の様子がよくわかり、学校や生徒に寄り添う気持ちが高まりますが、多くの地域の方はそれらを目にされる機会が少ないと思います。地域の掲示板などの活用でアピールできるチャンスもあるかもしれません。

・「そら」にありましたトキメキ体験等、社会の様々な場所・仕事でこれから生徒の皆さんの目標や希望を見つけられるよう、校外の社会人とのふれ合いを持つ機会がふえたらと思います。

・「トライやる・ウィーク」の活動が何故始まったのかを学校で説明していただくことで、教職員の方々や生徒たちが地域で見守ってもらっているということを改めて知り、本来なら地域と一緒に活動してそれを実感できたと思いますが、今年は体験できませんでしたので残念でした。今年は「何故地域の人が見守りをするのか？」という様な事などをテーマに話し合いなどしていただけたら生徒たちの意識改革になるのではないかと思います。

・学校行事の様子（特に今年はオープンスクール中止の為）を今まで通りいろいろな方法で地域に発信して頂きたいです。可能な範囲で普段より、地域に開放して頂けると嬉しいです。

6 その他ご意見があればお願いします。

・山手中学校は素晴らしい学校なのに、残念ながら小学校には伝わっていません。校長先生が時間を割いて下さって小学校で学校説明会をして下さるのはありがたいですが、それより生徒の活躍ぶりを紹介する方が響きます。生徒の活躍を聞いて、山中でしっかり勉強したいと言う6年生がたくさんいたと聞いています。今年は運動会で吹奏楽も聴けなかったので、映像でも小学校で流していただきたいです。

・思い通りにいかないときこそ学べる機会があるので、このチャンスをいかして大きく成長してほしいなと思います。これまで通りの熱心なご指導をお願いします。

・新たな取り組みより、登下校でのあいさつが積極的にできる生徒が増えることが大事なのではと思います。日ごろ見かける中学生が好感の持てる様子であれば、自然と地域の方に愛される学校になるかなと思います。生徒会活動での地域交流も継続していただけると良いと思います。

・学内にはいろいろな生徒がいて、問題行動はないけど授業についていけずに静かにじっとしている、わかっているのかわかっていないのか、困っているのかどうかの意思表示の苦手な生徒がいます。中学生になると、小学生とは違って教科を教えることに集中し、おとなしく問題のないように見える子は、置いてきぼりになりがちなので、その辺りの気配りもよろしくをお願いします。

・模索し続けた1年ですが、これからもあらゆる事に柔軟に対応できるよう、学校・家庭・地域が協力していく事が大切だと考えます。

・今年度は、生徒さんに来ていただいて園児と交流することができず、大変残念でした。たこあげで行かせていただくのをとても楽しみにしております。これからもどうぞよろしくをお願いします。

〈教職員自己評価について〉

自己評価とは、この一年間を通して学校での校務全般を教職員が自ら評価したものです。これもA～Dの4段階で評価しており、A・Bを肯定的、C・Dを否定的としています。グラフは左から順にA,B,C,Dの%を表しています。全体的にほぼ満足のできる評価となっておりますが、他に比べてC・Dの評価の多い項目については、改善の

ための  
対策を  
検討し  
ていき  
ます。

